

児玉 千晴（こだま ちはる）



Profile

『御宿・料亭 春光園』三代目女将

学生時代はイギリスの大学・専門学校で5年間、語学や建築を学んだ。その英語力と建築の知識を生かして、臼杵の魅力の世界の人に伝えたいと話す。

■大切にしていること

- ・先入観なく人と接する
- ・文化を継承する

■学べること・できること

- ・臼杵や春光園の歴史
- ・料亭のこれからの存在意義

■見てほしい観光地や味わってほしい味覚

- ・臼杵石仏
- ・ふぐ料理（夏ふぐの美味しさを知ってもらいたい）

■私の“SDGs×#〇〇”

#食材のロスを出さない #「ふぐ」の全てを料理して提供する

#完全予約制で食材・エネルギーの無駄を出さない

受け継ぎ、守る おもてなしの心と伝統の味

本場のふぐ料理を味わい、奥座敷の純和風客室にお泊まりいただく。それは、臼杵の町を最高に楽しむ方法のひとつだ。『春光園』は、そんな望みをかなえてくれる御宿料亭。この店の三代目女将が児玉千晴さんだ。

子育て中心の生活が長かったが、体調を崩した大女将(義母・多壽子さん)を手伝う形で2020年から店に復帰した千晴さん。以来、4人の子どもの子育てと女将の仕事を両立させる多忙な日々を過ごしている。「料亭は、接待文化が途絶えると収縮してしまう業種なんです。でもこの町にはふぐ料理があって、古い物や伝統を守る気風も残っている。独自の文化を持つ臼杵だからこそ『春光園』が今日まで続いてこられたのだと思います」。穏やかな顔で話すその言葉には、地元への愛情がふわりと織り込まれていた。

ここは宿でもあるため、お客様と接する時間も長い。観光名所や町の情報を伝えて地域とお客様を結ぶのも自分の役割だと話す。名物のふぐ料理はもちろんのこと、趣のある建物や庭園は、海外からのお客様にも人気が高い。季節や目的に合わせて、訪れる人のために花を生けて掛け軸を飾る。自身は生け花を習ったことがないため「義母の真似ですけど」と笑みがこぼれる。今日の花と掛け軸はどうでしょうかと、問いかけるように空を見上げる。この町は今日も良い天気だ。



かつての武家屋敷を御宿料亭に。建物も庭も趣深い。



和室から洋室まで、タイプの違う部屋が揃う宿泊棟。



人気のフルコースは、夏と冬で内容が変わる。

御宿・料亭 春光園

〒875-0041 大分県臼杵市祇園西区3組

TEL 0972-63-3128

<https://usuki-shunkouen.com>